

平成29年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学 年・分 掌 名： 生徒指導部

記入者氏名： 武田 誠健

本年度の重点目標

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

***実践指針**

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

***具体的な手立て（該当番号に○印）**

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- 2 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- ③ 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- 4 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- 5 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	各学年・分掌のテーマ及び具体的な取組の作成及び実践 Plan～Do
4 6 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的にルールやマナーを守り、自らを律することができる心の育成。 <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車点検や整容指導において、生徒による相互チェックを行う。 ・PTA 一声運動への生徒の参加を促す。 ・各種講習会后に生徒に感想を書かせ、「生徒指導部だより」や学年部報で共有する。 ・標語コンクールなどに積極的な参加を促す。
各学年・分掌の検証方法及び具体的な取組の検証（1） Check	
4 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目指導主事等学校訪問での指導事項 ・管理職及び分掌主任会議による検証 ・第1回授業アンケートの結果 ・第1回学校評議員会での提言・指摘事項 <p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部員と生活委員の生徒と一緒に自転車点検を行った。 ・5月の一声運動に生活委員が参加した。 ・携帯電話安全教室後に感想を書かせ、一部を「生徒指導部だより」に掲載した。 ・高生協主催の標語コンクールには、昨年同様、全クラスから募集した。各学年の生活委員で応募作品の選考にあたった。

検証（１）から、改善のための具体的取組 Action～Do

8
|
11
月

(改善のための具体的取組)

- ・ 2学期当初の整容指導では、3年生において、生徒3～4名のグループで整容チェックを行った。チェックされた生徒は多くはなかったが、教員が指導するよりも厳しいチェックが行われ、事後指導もスムーズだった。また、いつもより時間も短く済んだ。これを1、2年でも実施できるようにしたい。
- ・ 2学期当初の交通安全指導・昇降口指導の際に生活委員による挨拶運動を行った。また、10月のPTAによる一声運動にも生活委員が参加する予定である。
- ・ 2学期に行われる「性教育講座」「DV 予防セミナー」「第2回交通安全教室」後にも感想を書かせ、「生徒指導部だより」や学年部報に掲載する。

改善のための具体的取組の検証（２）、次年度に向けて Check～Plan

12
|
2
月

- ・ 学校訪問での指導事項
- ・ 管理職及び分掌主任会議による検証
- ・ 授業アンケート結果
- ・ 保護者アンケート結果

(検証結果)

- ・ 3年生のみではあったが、生徒相互の整容チェックを実施した。こちらが思ったよりも、生徒は厳しくチェックしていた。
- ・ 生活委員による挨拶運動を2学期当初の交通安全指導及び5月と10月の一声運動と平行して行った。
- ・ 各種講習会の感想を生徒に書かせた。生徒指導部だよりの発行が少なく、携帯電話安全教室のものしか載せることができなかった。
- ・ 標語コンクールには全校生徒に応募してもらい、生活委員に一次審査をしてもらった。

保護者アンケート

- ・ 保護者の駐車場内でのルール徹底、マナーの悪さ、効率の悪さ、渋滞緩和に関するものが多数。

(次年度に向けて)

- ・ 制服や頭髪等の基準を明確に示し、生徒同士の整容チェックを進めていきたい。
- ・ 各種講習会での生徒の感想の共有や標語コンクールへの全校参加を引き続き行いたい。
- ・ 朝の駐車場内でのマナー、ルール徹底については週番や交通安全指導期間での指導、通信やPTAを通じて根気強くルールの徹底を訴えていきたい。

(外部評価) 2月27日(火) 学校評議員会・学校評価委員会の評価

- ・ 評価はB○
交通安全指導、いじめ調査、スマホ・薬物等の各講座、教育相談体制等、円滑に運営されている。特に自転車走行中の事故と警察からの警告が激減したのは評価できる。一方、駐車場での保護者のマナーの悪さや登下校時の渋滞に関する苦情が依然として寄せられており、今後も粘り強く保護者への周知をお願いしたい。また生徒の主体的な活動を支援する工夫の継続を今後もお願いしたい。